

最後の課題

第8期生 住川 正好

もう卒業エッセイを書く時期になってしまった。8期生が本ゼミ，サブゼミに参加することは数回しかない。僕達は，出ていく準備を終えて次の環境に飛び込んでいかなければならないのだ。そんな状況にもかかわらず，この3か月ずっとある悩みにつきまとわれている。それは「環境の変化」である。

小野ゼミに入ってから2年間，この環境にいたことにとっても感謝している。学校で集まる，家でオールして課題に取り組む，飯を食う，飲みに行く。何をするにしても小野ゼミのみんながいないと始まらなかった。そんな環境に自分は心酔し，このままケースやディベートを毎週やっていたいと思っていた。この環境であれば，何をするにしても思う存分仲間と対話することができた。

しかし，4年に入り，グループワークが減り，就活や卒論と，自分との戦いが増えるにしたがって，仲間と一緒に課題に取り組むという作業が少なくなってきた。そのことがとても寂しい。もともとマーケティングが勉強したいと志してこのゼミを選んだのだが，いつしか目的が「8期の仲間と課題に取り組みたい」に変わっていたことに気付いてしまった。

小野ゼミの課題は本当に大変だった。何度も自分がやっている事に対して疑問を抱き，投げだしたいと思った。けれどみんなで悩みながら取り組んでいくことで，どんなに大変だろうと頑張ってこられた。あの時間は，自分にとってかけがえのない宝である。そんなことが最近できない。3月が終わったら，仲間と課題に取り組むことができなくなるだけでなく，仲間と毎日グル学に集まることすらできなくなる。その瞬間が刻一刻と迫ってきている。

最近周りから付き合いが悪いと言われた。みんなごめん。その理由は，この寂しさから逃げるように皆と会うことを避けていたからである。自分はこの環境がとても好きだ。だからこれ以上良い環境にしようとして皆と別れるその時が辛すぎて耐えられない。こんなに環境の変化に悩むことは今後の一生において無いだろう。この寂しさを乗り越え，さらに成長していくことが小野ゼミからの最後の課題である。小野ゼミは本当にエグゼミである。

小野ゼミは良い環境だ。本当に。ゼミの同期，諸先輩方，9期生の皆さん，そして小野先生，小野ゼミという環境に自分をおいていただきありがとうございました！この環境をさらに良くする一員として春からも努力していく所存ですので，よろしく願いいたします！さあ，卒論卒論っと。



2010年度インゼミ報告会にて
代表を務めあげた著者（左）